（明治四十一年十二月二十日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日之翌日休刊　明治四十四年七月十四日（金曜日）　第七百二十九號

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金二十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 [illegible]
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地



史譚　臨終の奈破翁

山水道人

第八回

藥石効あり。帝は尚ほ無事なりき。

四月は過ぎぬ

五月二日……………

呼。病勢の極度？足擦りの傾けき歩行の氣配すら。なは胃に嚮くの劇痛。脉搏は正に百度つ斷末魔の苦しみ。

されど斯る苦痛も。時には少しく打ち和らぎて。心氣の平靜に復することも無きにも非ず。新る折にぞ皇帝は。その遺言の不備を補ふなりき。

「アントマルシよ。朕が屍体を解剖に附せむ時。胃部には特に心を注げ、この胃病は遺傳性のものぞと豫てより聞きぬ。それにしても。せめては朕が愛子のみは。あゝ。希くは此怖る可き病に犯されざらしことを」

あゝ蓋世の英雄ナポレオンも。流石恩愛の至情は切に。臨終に至るまで拳々として。その兒の爲めに憂ひをなす「生前既に思ひ殘すこと無し。死後に於てゆめ〳〵英人を近くること勿れ!!」次第に幾り行くその顏容。怪しき死の影は眉宇に宿りつ。刻秒に薄れ行く呼吸の間より。皇帝は苦痛の聲幽けく「さらばぞ!!……別れ行く……歐州に歸れ!!……能くも今日まで……薄倖なる主を顧み……苦節を盡す……朕死すとも。いかで卿等の志を忘れむ……呼……記せよ。朕は嘗て一日として……故國の福祉を。増すことを。怠らざりき……されど……嗚呼されど……不幸にして永く朕の君臨を許さゞりし……されどそが企圖の十分一をも遂げ得ざりき……今や。善美なる制度は悉く破壞され畢んぬ。されどフランスは……朕が意を諒せむ……後世……必ず朕が名と勝利とを紀念せむ……唯冀くは故國が永久……朕が殘せる。榮譽と。幸福とを失はざらむことを」

末期の帝は。更に何事をか語らむとせしも。その舌既に硬り。僅かに唯だ「頭」「軍隊」なる數語のみ聞き取られつゝ斯て氣息の微かに鼻頭に動くのみ。皇帝は今。最後の靜けさに居ぬ。

人蔘病害豫防の新設備

人蔘の病害豫防に就ては專賣局開城出張所に於て引續き研究中なるが昨年富家技師米國に出張し人蔘産地に就き調査せし際近年同國にても人蔘病害發生し其損害尠少ならず爲に實際家等鋭意之が豫防驅除方法を考究せる結果「フォスフエードアシード」と稱する肥料を使用する時は生育を促進するのみならず大に病害を豫防するの効あるを發見し漸次之を使用するの狀況なるを目擊し歸朝の時試驗用として數噸を購入し本年春季人蔘移植の際之を試作地に使用せしに耕作者中にも其試用を請求するもの多かりしを以て去る五月中旬より下旬に亙り開城郡外四郡內約一萬四千間の蔘圃に對し該肥料及精過燐酸石灰合計七十六萬貫を使用したり其成績は未だ知るべからざるも今日迄の經過は頗る良好なりと云ふ

盂蘭盆會

天倪居士

◉其起る所以に、種々の說あり。曰く、盂蘭は倒懸なり。餓鬼道に墮ちたる苦患は、倒に懸らるゝが如し。盆は鉢なり、鉢に百味の飲食を盛りて、彼の餓鬼を濟ふの意に出づ、と。

◉曰く、昔者、釋迦在世のとき、弟子目蓮の母を、餓鬼道より救ひたるに出づ、と。

◉何れにしても、佛說盂蘭盆經に基き來るもの。今は則ち佛徒が行ふ祖先の靈祭に外ならず。

◉古歌の、

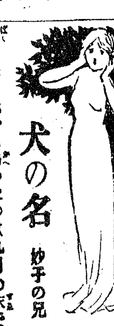
今日とても内殿の祭ぞそなふらむ魂祭るなる文月半ばに。

など見るべし。

◉更に此會の起原を繹ぬるに、支那にては、今を去ること一千八百五十四年前、即ち後漢の二世明帝の世。我國にては、人皇第四十五代、聖武天皇の御世、正に天平五年に當れり焉。

◉咸興の商況　咸鏡南道咸興に於ては近來斷髮する事が流行するに伴れ鮮人特有の笠の賣行漸次減少し之に反して內地人向の帽子の需要多くなり又同郡上元川面の市場にては近來麻の賣買盛にして市毎に二百圓以上の取引あると云ふ

◉咸興の養蠶　咸鏡南道咸興郡永川面に於て鮮種の養蠶を營むものありしも毎年不振なるを以て本年は郡廳より日本種を配付したる所成績良好にして成繭約四十石を得たりと云ふ



犬の名

妙子の兄

僕が旅行先から歸つたのは九月の末で徐々涼風の起つ時分であつた。停車場には相變らぬ妙子が愛犬白を伴ふて—とよりも保護せられて出迎ねて居る。

「御機嫌ようお歸り、お父さんもお母さんも夫れから妙も皆んな壯健でよ、毎日〳〵面白かつてよ兄さんがお歸んなすつたから妙はね此れからはモット〳〵面白いと思ひます」

見上げたる眼は平和の光りに輝く、僕は幸福だ、斯うした妹があるのだもの其の肩に手を掛けて顔を寄せると彼れは其の細き腕を僕の頸に卷いて僕の所謂「頰コッコ」をする。

「お土産は無いよ」と停車場を出てから笑ひ乍ら斯う云ふと

「入用なくつてよ、コラ」と袂を折柄の風に弄らせて「モウ涼しい風を澤山頂戴してよ」と顔見合はせて微笑む。

「太郎ッ〳〵」と媚いた聲の主は前に行く。

「アラッ」と妙子は長い睫毛の中に其の愛らしき眼を怪しと光らして

「アノ方は兄さんを呼棄てにしてッ……何處の方」と頗る不平な面地、野の主の裾の邊には愛らしき小犬の絆の組紐に曳かれて行く。

「アノ犬の名です、兄さんはアノ方は知りませんもの」

「オ、嫌だ、人間にある名を犬に附けて失禮だワ、アノ方は」

嗚呼僕は此の妙子の兄であることに大なる光榮を感ずる。

文苑

◎夏雲集（三）　雲遊霞宿堂主人

池堀りて小山築きて樹を植ゑて額の汗のたのしさを見る

○別れては楓若葉に物思ふもみぢの頃とちぎりつる君

○やつれ髪風に亂して病む人のめさむる迄を苺籠に盛る

○夕風の水なつかしみ夜更に渡舟して君を訪ふかな

○渡舟柳木蔭にのりすてゝ行くとしもなき旅の僧かな

○うらぶれて人の情もうとき身の乳母が澁茶に今日ぞ潤ふ

○ひくつけき我がひげ笑ふ乳母が宿裏の柿の實今日も味よき



召使れ初

第百二回　黑法師

庭も荒れ籬垣も荒れて、今日の落葉明日の落葉、且つ見るからに樹々の影淋しう露れ、久しく心を慰めたる菊の花も、昨夜の霜に色褪せて、殘香空しく夕陽に匂ふ、正木佐五右衛門が麻布の僑居へ今訪ひ來りしは海老屋德兵衛なり。

「久しう逢はぬ、そなた異ることとないか」と佐五右衛門はお力の薦めくれた茶の煮花に咽喉を濕しながらいふ。

「まことに存じながら御不沙汰、お詫の致しやうもござりませぬ、皆様御健祥、これに越した歡びもござりませぬ」

「年を老ると意氣地無うて、外へ出るも大儀を覺ゆる、お身は今年幾歳にならる」

「五十一歳、もう定命を越ゑて居ります」

「まだ若いの」

「いや、若うござりませぬ、もう彼是隱居しても好い年でござります」

「德右衛門悧巧、商賣にも脫漏ないさうぢや、立派な相續あつて幸福ぢや」

「お蔭さまで德右衛門甦者ではござりまするが、心に病ひ生きたのでござります」

「はて病」

「今日態々參上いたしましたも、實はそれについて、御相談申し上げる事あるからでござります」と德兵衛は思ひ込んでいふ。

「何事ぢや」

「別儀にもござりませぬ」と德右衛門は云ひ惜さうに「先日以來、屢次お願ひ申し上げ、その時々お斷りの御口上を承はつたお旗樣お身の上でござります」

「道もそなたのお蔭で、只今は濱田樣御殿へ勤め、女子には不相應の御知行も頂戴する、それで私も一まづ安堵ぢや」

「根が御恰悧お生れ、國尾樣御引立てもござりまする上、奥方殊の外御目を掛けさせらるゝ氣でござりまするで、此上御出世、目の前に見ゑてござります」

「どうか疎忽なく御勤め申し上ぐればよいと、そればかりを心配いたす」

「大丈夫でござります、お旗樣御忠義を神樣お守りのない筈はござりませぬ」

「末を樂みに致し居る」

「そこでお願は、お旗樣御下りなさられた上の事でござります、一生御奉公あらせられの管もござりませぬゆへ、何れは御暇を願はせられるでござりませう、その時は……」と云ひかけて口籠り。

「何とも早や、口に巾つて申し上げ難ねるでござりまする」

「はゝ」と佐五右衛門は笑ひながら。

「道を德右衛門嫁に與れよか」

「お察しの通りでござります」と德兵衛は平伏す。

「其事は先年以來、度々申し聞けた通り、本人の存意次第、我等からは什麼樣返答も致しかねるで、詮事は道お暇を願ふた上の事、德右衛門にはどうで道に心を掛けなるかな」

「恰で狂人同樣でござります、外々から緣談申し入れもござりまするが、此望み協はずば、一生を獨身で暮らすなど、怪しからぬ事を申し張り、親を苦め居るでござります」と德兵衛は額に浸潤む汗を拭ひぬ。





京城新報

府尹會議の結果如何

民團存廢問題

道長官會議は既に終了し、府尹會議も十三日を以て閉會したり、惟ふに前者は上級地方官として其の職事々項一般的なると同時に諮問事項も亦管內被治民の多少より之を考へ或は鮮人行政に於て特に重大案件多かりしなる可しと思料せらるゝに反し、後者は直接行政官にして而かも管內極めて狹く且つ開港場又は雜居地たりし內地人の集團地を管轄する點に於て直に內地人行政に關する大部分たりしを想像するに難からず、之を以て吾人は府尹會議開催の當初に於て民團存廢問題に關する希望の一端を披瀝し、以て其注意を促す處ありしが今や會議は終了し各府尹は將に歸任の途に就かんとす、吾人は此の機會に於て更に會議の結果に就て考察する所あらざるべからざるなり。

寺內總督は併合の當初各理事官に與へたる訓令の一節に於て曰く、民團は遠からず廢止せらるべきものなりと、而して更に客年十一月に於ける民會議員選擧を中止して訓令發現の遠からざるべきを暗示したるに拘はらず、本年一月に至り突如として議員改撰の單行命令を發布し以て曩日の暗示を破壞し人民をして民團の將來を危惧せしむる多大なりき、而も併合後に於ては外國を前提とする民團の存在を許さざるは總督の訓示のみを以て之を知るに非ず、故に吾人は改撰單行命令發布の當時に於て寧ろ根本處分案の出でざるを怨み姑息の存續を敢てするを訝みたり。爾來六ヶ月、總督は脫稿したる成案を確實にせんとするの爲めか將又案未だ成らざるを以て參考材料を得んとするの意か、道長官會議の一日を之か爲めに割き、府尹會議の殆んど全部は之を以て終了したり。脫稿したりとせば確實にせられたるべく、案未だ成らずとせば參考材料を得られたるべし、案の內容、材料の程度如何、吾人か會議の結果に就て考察せんとするもの實に之に外ならざる也。

而して案の內容に就ては吾人の具體的見解と共に更に後日に詳論すべく、姑く除外して各府尹の提出意見又は質問答申に就てのみ之を見んか、民團なき淸津の楠野氏を除き他の十一府尹は總て民團の直接監督者にして且つ京城大庭、鎭南浦本田、大邱竹崎の三氏以外は併合以前より理事官又は其の代理者として民團とは最も深き關係を有し、其の自治能力を解し、其事業を知り實に其の發達發展の歷史を共にせる人々なり、從て之等の人々の提出又は答申意見は最も事實を摘發し最も時勢に適應せるものなりしを信ぜざる雖ども、翻て研究すれば或は徒に處分に急にして內地人自治の根本義を失ふことなかりしか、更に或は一視同仁の意義を誤究し行政統一なる美名に眩惑し、開明の程度を異にせる日鮮人を同一に率せんとすることあらざりしか。

民團は處分せざるべからず、然れども內地人の自治は奪ふべからず、一視同仁や良し、然れども裏王の恩を擧ふべからず、內地人の自治を奪はず一視同仁の義に反せず兩者調和の遭遇點に於て一の案を發見することぞ其の主要にして所謂處分案が問題たる所以のもの亦實に茲に存す。

會議の結果や果して如何。

吾人は賢明にして民情に通曉せる府尹諸氏が意見會に於て將又答申書に於て吾人の希望と同一なる主旨を陳述せられたる可きを信じ、吾人の疑は杞人の憂たりしことを望み、併せて當局は本會議に依りて得たる處多かるべきを察し、茲に歸任せむとする府尹諸氏に深厚なる敬意を表するもの也。

東京電報（十三日發）

▲**日瑞條約批准** 日本瑞典間の通商航海條約並に相互關稅條約は十二日外務省に於て批准交換を了したり

▲**日瑞條約發表** 十二日批准交換したる日瑞條約は同午後三時發表されたり其の內容は全文二十一箇條より成り期限は十二箇年にして其他は各列强との條約と大差なし

▲**萬國水產博覽會** 來る十一十二の兩月佛國巴里に於て開催の万國水產博覽會に對し我日本よりも多數の出品を爲す事に決定せり

▲**京都大學卒業式** 京都帝國大學は今十三日卒業證書授與式を擧行せり御名代竹田恆久王殿下御臨席優等生に對し恩賜の銀時計を下賜されたり

▲**借欵と日露要求** 四國借欵問題に對する日露の要求は英佛に於て至當也と解し借欵第十六條の規定を改むべきも右は各政府間に於て公式協議を要するを以て當分解決困難なるべし

▲**敬禮法中改正** 明治四十三年文部省令第十八號行幸啓の節學生、生徒の敬禮法中改正されたり

▲**乃木將軍伯林發** 乃木大將一行は十一日伯林發維納に向へる旨其筋に公電ありたり

▲**聯絡船新造** 鐵道院は釜關聯絡船に使用の目的を以て各三千噸の姉妹船二隻製造すべく建造方注文したり右は四十六年四月竣成の契約なり

▲**上院各派勢力** 貴族院議員總選擧の結果二十七議會當時の議席所屬別を二十八日の議會に於ける議席所屬別に比較し其勢力如何を見れば研究會八十四名なりしが百一名となりて十七名を增し談話會三十八名なりしが二十五名となり十三名を減じ扶桑會十六名なりしが七名となりて九名を減じ木曜會二十五名なりしが十一名となり十四名を減じ清交會は解散して全部共同會へ入る事となりたれば議會時に於ける團体茶話會無所屬、共同會、陸軍同志會、海軍親睦會より出でたるものは皆茶話會無所屬に入る可ければ改撰後に於ける各派勢力を窺ひ知るを得可しと

▲**海獸會議反響** 日本海獸獵者はワシントンに開催の万國海獸會議の決議を不當とし其救濟に就き同業者に檄を飛ばし利益擁護せんと敎圍き居れり

▲**期米と株式** 暴騰の狀を呈したる期米は稍低落し漸次平調に復さんとしつゝあり株式界も同しく順調ならんとせり

▲**快晴と暑氣** 東京は今や連日快晴にして暑氣殊に激甚を極む

雜報

●**府尹會議閉會** 十日以來連日總督府に於て開會中なりし各府尹會議は愈々十三日を以て終了し同日は午前八時より開會寺內總督、山縣政務總監以下各部長官府尹並關係局課長列席民團に於ける衛生消防土地調査事務等に付諮問あり午前十時散會したり

●**農銀運轉狀況** 度支部所管の慶尙、平安、全州、光州、咸鏡及漢湖の六農工銀行が地方に於て運轉する資金に對し最近の狀況を聞くに合計八百二十二萬四百三十七圓にして此內長期貸付百三十八萬六百五十六圓商業貸付は四百八十八萬三千六百八十六圓所有物四十六万二千六百三十八圓預ケ金及爲替尻八十二萬三千五百四十三圓雜勘定七十一圓手許在高六十六萬九千八百四十三圓なるが長期貸付即ち農業資本と見るべきものは商業資本の約四分の一强なれば同銀行の事業は重に商業資金の運轉にして其名義たる農工に少しく離れ今日の場合に己むを得ざる次第なりし

●**農銀運轉資金** 全國六個の農工銀行資金運轉狀況は別項の通りなるが其資金の內譯は左の如し

政府貸付金	一、一三四、六八〇圓
公金預金	七二一、三三四圓
拂込資本金	六八五、五一五圓
積立金及繰越金	二一二、一二九圓
農行債券發行高	九五〇、〇〇〇圓
諸預り金	三、二二四、七二三圓
借入金及爲替尻	一、一四五、三三〇圓
雜勘定	一四六、七三六圓
計	八、二二〇、四三七圓

備考 雜勘定中には五月末に於ける純益金八萬八千九十三圓を含む

●**三井家殖林計畫** 三井家同族會にては臺灣に廣大なる森林經營をなしつゝあるが朝鮮に於ても此際將來確實なる營利事業として大規模なる殖林經營に着手すべく過般柴田中野の兩林學士を派遣し調査に從事したるが兩氏は目下鐵原地方面に赴きつゝありと云ふ

●**釜山民團の陳情** 民團存廢問題に就て釜山民團にては栗屋民長の名を以て內地人自治体は依然存續せられたき旨長篇の陳情書を總督府に提出せり

●**六月中の仁川金融** 六月中仁川三銀行にて取扱ひし預金貸金統計左の如し

▽諸手形取扱高△

種目	仕向高（圓）	被仕向高（圓）
送金爲替手形	九八六、八五一	九二〇、一七
荷爲替手形	一八九、一三五	三七、一七〇
代金取立手形	三三九、七三九	三八〇、九〇六
合計	一、五一五、七二五	一、三三八、五九六
前月計	一、六〇八、八五七	一、二三〇、八三三

▽預金取扱高△

種目	預金高（圓）	拂戾高（圓）
公金預金	一、七二三	一五、一七〇
定期預金	四五、八一六	三八九、七三三
當座預金	三、七七七、六四五	三、七六四、九五三
小口當座	五三、九五九	四九、一二四
諸預金	一九四、一四八	五九、一六五
合計	四、〇八二、二五〇	三、九四四、七八〇
前月計	四、〇七四、七一九	三、九九七、一六七

▽貸金取扱高△

種目	貸出高（圓）	入金高（圓）
貸金	一七六、六八三	三四八、四七三
當座貸	八五六、八一〇	八九一、一三四
割引手形	六九五、一六八	六七八、四八五
荷爲替	一八九、一三六	二四〇、二三三
合計	一、一九七、六九七	二、一五八、三二三
前月計	一、九八九、三三八	二、〇二九、八四四

●**佛艦司令官招待** 寺內總督は目下仁川に入港中なる佛國東洋艦隊司令官海軍少將カストリー氏及副官カーレル佛艦ベラート並に艦長等を主賓として十三日正午總督官邸に午餐會を催したるが陪賓は大久保軍司令官、山縣政務總監、外波、中山兩武官、小松局長、津野少佐、藤田、十時の兩大尉、兒玉、桑原兩秘書官、萩田文書課長、久水、橋本の兩府尹等なりし

●**夏期講習會**（內務部） 內務部主催の內地人小學校敎員學力補充夏期講習會は來る二十六日より八月四日迄十日間京城及釜山に於て開設せられ京城は會場日の出町小學校釜山は會場釜山小學校とし京城に出席者百三十八人釜山に出席者八十四人にして學科及講師は左の如し

▲京城（國語科）東京帝大敎授芳賀矢一（理化學）總督府中學校講師西澤勇志智（朝鮮歷史）同上敎諭廣田直三郞（科外講話）石田視學官立柄編修官▲釜山（複式學級敎授法）東京高等師範學校訓導岡千賀衞（朝鮮歷史）總督府中學校敎授廣田直三郞（理化學）同講師西澤勇志智（科外講話）石田視學官

●**銀行上半期の成績**（漢城銀行） ……李支配人及び張庶務課長談……

上半期に於ける當地金融及經濟は共に昨秋の豐穰と恩賜公債の下附剩へ米豆雜穀の高價を示せる等概して良好なりし爲に我が銀行は御承知の如く本年一月二十一日從來の資本金三十萬圓に二百七十萬圓を增資する事となり總督府の許可を得て恩賜公債を以て拂込を受くる事とし即ち總資本金三百萬圓となせり當期預金は百七萬八十餘圓にして貸金三百四十三萬四千餘圓なるが預金の類例なき增加を示せるは朝鮮貴族恩賜公債の賣却代金を以て其の多くは不動產購入に使用せむとしたるも昨年來內地人の資本家入込み不動產買込みに奔走する者日に多きを加へたる結果自然不動產の價格騰貴したるを以て折角の希望も該暫らく手控となり所謂時機を見て放資せむの變となり其の極預金の止むなきに至りたるものゝ如し貸金の例年に比し平凡なりしは內地人の土地放資及米價騰貴各種事業の隆盛に伴ふ資金流通稍や繁忙を告げたるにより金融界は幾分潤澤となり隨つて貸金の不振を來せるものなるべし當行營業狀況は大暑斯くの如くにして今期純益金は二萬七千餘圓なるが之を前期の成績に比すれば約五割强の增收を得たり尙ほ今後當行の發展策として各地に支店及出張所を設置し廣く一般の便利を計らん方針にて來る二十日の總會にて先づ平壤に支店設置の件を附議する筈なりと云ふ

●**咸南の養蠶** 咸鏡南道高原文川、永興以上三郡內に於ては養蠶戶數一千六百〇八戶の養成績非常に好良にして收繭高四百六十石餘に達したりと云ふ

●**大勸會社の近狀** 紛擾後に於る大日本勸業會社の創立委員は着々設立計畫を進捗せしめつゝあるが其一端を聞くに資本金二千萬圓を一千萬圓に減資し純然たる信託事業を營むことゝし株式の引受者を大阪シンヂケート東京實業家の一團並に外國人などゝするにわりて目下株式の引受方及び減資方法等につき調査中なるが遲くとも來る九十月頃迄には具体的方針を確立する豫定なりと

●**大洋報の禁止** 七月二日浦潮に於て發行したる大洋報第二卷第三號は治安を妨害するもと認められ十二日朝鮮に於て發賣頒布を禁止されたり

●**麥作の豫想高** 京畿道廳、本年度麥收穫豫想高は二十六万千百六十四石にして前年度十八万〇九百二十五石に比すれば八萬〇二百三十九石の增收ある見込なりと

●**軌道敷設許可取消** 日韓瓦斯電氣會社より曩て其筋に出願軌道敷設許可を得し黃土峴光化門間電車道は近々敷設に着手の運びとなりをりしが總督府にては六月二十二日付を以て該軌道敷設許可を取消したりと

●**龍山建設所長の更迭** 鐵道局龍山建設事務所長は從來小城技師の兼任なりしが今回鐵道技師川江秀雄氏同所長を命せられたり

●**赤十字委員長招待** 山縣赤十字社朝鮮本部總長には十三日午後七時京城ホテルに於て赤十字委員長愛國婦人會顧問たる各府尹を招き晩餐會を催ふし本部よりは藤田小松副總長國分小原兩管事出席したり

●**入江書記官の歸任** 久しく東上中なりし入江總督府經理課長は十二日夜南大門驛着歸任したり

●**志賀博士の入京** 東京血精製造所次長醫學博士志賀潔氏十三日入京の筈

●**宋秉畯氏の歸京** 子爵宋秉畯氏は十二日釜山に上陸の旨留守宅に通知ありたる由なるが十三日夜か若しくは十四日朝歸京すべしと

●**故中大路氏の後任** 故中大路京畿道內務部長の後任に就ては審議中なるが三四日中には總督府高等官中より任命せらるべしと

特別通信

●**釜山より** エスケー生

其一 釜山水產株式會社

鷄を割くに牛刀を用ゐるの嫌あるも聖人も洒掃應待より始むる習なれば、一會社の事とて又た忽にすべからず、殊に衆多數の可憐なる漁夫の利害休戚に關する勘からざるものあるを見ては默して止むべきにあらず、況んや間接には釜山港の盛衰に多少の影響あるをや、之れ通信者が劈頭題目に此の一會社を捉へたる所以なり

一獨占業の利益は其收益の多大なると共に、其施設經營の社會を利すること多大なる點にあり、若し獨占業者が單に自己の收益のみを計りて、社會公共の利害を眼中に置かず、或は之れに依て多數の從業者、關係者の不利益を釀すが如きあらば、當局者は容赦なく獨占的營業を禁止し又は他に同種類の營業を許可して、其獨占的權能を剝奪するの擧に出でざるべからず、然らざれば獨占業の社會に存立する所以も、國家が特別の保護を加ふる理由も二つながら消滅せむ、之れ近時北米合衆國に於てトラスト征伐の行はるゝ起因にあらずや

釜山水產株式會社は、領事館時代に於て帝國朝海出漁者の便益と、漁業の發達を企圖せんが爲めに、當時の專管居留地內に入り來る一切の漁獲物の一手仲買權を領事館令に依りて附與せられたる、營利的獨占會社なるが、營業開始の當時に於て日監督官廳の命令にも順從し、漁業者に對しても多大の不都合無かりしに似たりと雖も年月の經過と經驗の集積とによりて、追々獨占事業特有の缺點を助長し來り、其特別なる權能と手腕とを以て漸く專橫を極むるに至れり、今其暴威を振ふて多數の可憐なる漁夫を苦しむる狀況を見るに彼れ會社は自己の糶り場に荷揚したる多數の漁獲物の中より、先づ目拔きの魚類を撰び出して、糶り物以外に畜へ置き其少數なる時は社員の私用に供し又は直接小賣業者其他の者に販賣し多數なる時は漁夫の漁獲物を糶り賣りすると共に之れを公然糶り賣して不正の利得を貪ぼるを常とす、漁夫の漁獲し來りたる百尾の鯛は、會社の手にて八十或は九十尾となりて販賣せられ其二十或は十尾は漁夫の損耗となりて何時の間にやら空中に消散し去ること、奇天齋正一の手品よりも巧妙なり（此項未完）

讀む可し讀む可からず

山水道人

▼等しく物を擔ぐに日本人は六尺棒で縱に擔ない、朝鮮人は背中のチゲで橫に負ふ。

▼どんな長い材木でも、橫にノッケて大道狹しと持ちあるく、近所が實に迷惑なり。

▼斯る習慣を形成馴致し、路幅許容しつゝ自他相互、一般交通の不便故障を格別に感じなかつた社會とすれば、以て其交通觀念の如何に幼稚なりしかは推知さるゝ。

▼交通觀念の强弱は文明のパラメートルである。

▼一步進めて言へば交通機關は社會の血管で、通信機關は社會の神經である。

▼そこで交通機關の不備な社會は血行不良で衰弱を來し。

▼通信機關の不備な社會は神經系の痲痺を起して運動不隨を來す。

▼若し夫れ血行不良と神經痲痺とを併發せんか、落ち付く先は肋膜炎か肺病、乃至迎へずしてクタバルは無論である。

●**電信線復舊** 電信不通なりし事は昨報の如くなるが京城下の關線は十二日夜十時頃復舊し其他も十三日朝迄には復舊し豫想せし程の電報遲延なかりし由

●**道路擴張幹事會** 十三日午後二時より壽町商業會議所に於て本町道路擴張幹事會を開き釘本、池田、長野氏外數名列席今後の方針に付協議する處ありたり

▲**京城手形交換高**▼

	金高	枚數
七月十三日	一四五、八六七、七七〇	三四八

▲**治外法權**▼

府尹會議も愈れ仕舞になつたが、サテ會議としては餘り振はなかつた樣だ、ソレも其筈現在の府尹はキマッタ仕事のない、云はば過渡時代に於ける閑職者であるので、之と云つて附議すべき纏まつた問題を持たないからである▲併し流石は顏揃ひの府尹、內地人自治團存廢問題に關する總督の諮問に對しては、各自長廣舌を揮ひ、無遠慮答申の責を果したとの事だ▲半島最古の民團釜山民團が、過日我京城民團が出せると同意味なる內地人自治體存續の陳情書を、去る七日附を以て寺內總督へ出した、思ふに內地人自治体存續の希望は各民團共同じだ、サレば同意味の陳情書は今後各民團から續々出ることでアロー▲併合に就ての論功行賞が、獨り在京城の官吏にのみあつて、地方に及ばぬとは何だか可笑とは同業木浦新報の云ふところだが此は尤な話だ、併合の功勞は京城官吏の獨占ではない、ダカラ地方の官吏にも至急行賞するようにしたい▲新潟の視察團二十餘名の一行が無事當地に着いた、右に付き在當地新潟縣出身者は歡迎會を催すとの事だが、總督府や民團でも歡迎してはドウカ▲東拓會社では目下內地で第二回移住民を募つて居るが、應募者は極めて少ないとの事だ、聞く南鮮に散布された第一回移民はドレもコレも條件に不滿足で今や割當地を見捨てんとして居る、此報に接せる第二回移民に應募者の少ないのは當然の事だ▲我京城商議が議員當撰確定後十日間以內に於て各役員を選任せざるは定款違反の所爲だ、責何人にあるかは記者の知らぬところ、而かも山口中村の兩人に罪なしとせずだ

藝妓健康診斷の議と各方面の意見

藝妓に健康診斷を受けさせると云ふ議が持ち上つて以來其の側の[illegible]と云つたら凄まじいもので、無理だ人權蹂躙だなどと憤慨するもの、身に覺へがあるから受けても宜しいけど[illegible]、新町の娼妓さんでさへ檢診と云ふと[illegible]、まして初めて出會す素人連は恐いと云ふ[illegible]從つて[illegible]局外者にして[illegible]

南部署長 今村鞆君

藝妓に健康診斷を行ふ理由を話せと、南部ぢやないよ、彼の問題は元來君等の方で勝手に空中樓閣を[illegible]

亂る奴はドシ〳〵檢擧すれば風儀[illegible]

藝妓は三味線を備へ[illegible]試驗[illegible]

藝妓はだ〳〵社交上の必要物[illegible]

體に不養生だよ、夫れのみならず中には或は肺病の者もあれば皮膚病の者も無いとは限らん[illegible]診をする程に進んだ[illegible]の賓客の相手をする[illegible]ものは許せない[illegible]で時々醫師の診斷を[illegible]るのが肝要だ、不幸[illegible]病者のある場合には其の許可を取消すと云ふ如な事になるかも知れぬが、衛生警察の進歩に伴ひ或は此の點から其健康監視する樣になるかも知れぬが、僕の言明の限りでない、新聞に發表せん樣に

記者曰 過日來連載し來りし各方面の意見も事態既に斯くの如きを以て之れを以て中止し明日よりは引續き藝妓の半生を紹介すべし



西方前頭 錢川

蝎甫家の大繁昌

▽恐るべき悪性梅毒の傳播

去る六月十八日[illegible]所謂小料理屋は新町及び桃山の兩遊廓に[illegible]區域内に集中せられて爾來狹斜の巷間[illegible]恐るべき惡性梅毒の傳播[illegible]粉の語を爲すもの[illegible]紅燈撤せらるに革まり[illegible]ならざるに行人の[illegible]經る未だ幾何ならず[illegible]風に靡たいて

美しい妓も候よ「酒」と召しませ[illegible]數を増し爲めに若者の血湧き肉躍る、鐵竈は聞きに立[illegible]振り忠實なり行燈の[illegible]ゆき世の調法は又前門に虎を防ぐ[illegible]心地ぞする、之が其の實笑

[illegible]の料は頗る甚だ低きを以て鮮人は勿論清人の下級勞働者も容易に其の肉の香を貪り靡らを得るを以て恐るべき惡性梅毒の媒合を成すこと劇しきものあり現の如くならんには我壯丁の健康は甚だしく憂ふべきものあらんと、饑へたる者は食を擇ばず溺るゝものは藁にも縋ると今の儘にして其の心の赴く所に任せ擇ばざるに委すべからず、更らに之れを風紀の上都市の體面の上より見るも好ましき事にあらず、小料理店を一所に集中したる當局者は此れをも又一所に集中し。娼妓同樣の取締を加へられたきものにこそ

●梁起鐸等の公判

梁起鐸外十七名の保安法違犯被告事件第二回公判は十三日午前九時より京城地方裁判所大法廷に於て開廷せられ傍聽人は相變らず立錐の餘地なく外人宣教師もありき被告辯護人としては大久保、木尾、高橋、森中村外數名の辯護士出廷し型の如く席定るや塚原裁判長は前回に引續き公開す可しと告げ、兩角檢事は嚴然として立ち本件は起訴事實に述べし如く保安法違犯即ち同法第七條に該當す犯罪なるが被告中には當法廷に於て犯罪事實を否認し或は曖昧なる申立を爲すと雖も本職が檢事廷に於て取調べたる際は明白に自白し居るを以て犯罪を犯したるは明白なり本職は事實の辯論に移る以前に前日の安明根事件の辯論に辯護人より保安法不必要論ありし由なるが本職も不必要論者なり何となれば現保安法は懲役二年が最重にて刑罰輕きに失するを以て別に保安法發布の必要を認むのである云々と述べ終つて事實論に移り各被告人毎に罪となる可き理由を明白に論じ梁起鐸、林蚩正、朱鎭洙、金道熙、安泰國、高貞華、安允任、甘翊を各懲役二年に玉觀彬、金容奎を各一年六月柳文馨、權泰善、金容燮、金熙藏、金成柱、鄭達河を各一年に求刑し被告金鑰、金鴻亮の二名は强盗罪の併合に付重きを以て所斷す可しと論告ありて被告辯護人高橋、木尾、大久保其他の辯護士交々立ち政治法理刑事政策社會政策論より無罪を主張し頗る痛快なる辯論あり

●僧侶の貨幣僞造

京畿道揚州郡内洞面にある亭字寺の僧侶金思儀(五三)外二名共謀して明治四十一年八月頃より白銅貨を僞造したるに其後發覺せんことを虞れて機械類を土中に埋沒したることを此程に至り有揚里分遣所の知る所となり機械及白銅貨四千九百四十五個を發堀して之を押收したりと云ふ

●滊車の線脱

十二日午前六時京是線太田驛發南大門行列車は豪雨の爲め線路破損し成歡驛附近に於て脫線せり人畜死傷なかりしも復舊工事に三四時間を費せりと

●仁川の暴風被害

十二日の暴風は晝間の事迚さしたる被害なく仁川に於ては府内面七統一戸當氷範(五四)の家屋全部倒壞し損害金高六十圓餘



西方前頭 鐵甲

●淫賣屋告發さる

仁川寺町二丁目料理店花の井樓井下みつ方には岩岡惣之進を同町一進樓朝永とく方には太田磯太郎及寺下萬次郎を同町三日月亭金村すい方には三上惣太郎待合前田ちせ方には山田いせを孰れも十二日夜無斷宿泊をなさしめ十三日午前二時其筋へ告發せらる

●萬引夫婦の處刑

三重縣人當時櫻井町三十九番戸建具職伊藤仁三郎(三七)及妻かね(三二)の二名は共謀して本年五月より六月迄の間に於て本町通り呉服店三越外四ヶ所の呉服商店にて數百圓に相當する呉服反物を竊取したる事件は仁三郎を懲役五月かねを懲役三月に處せらる



西方前頭 五十嵐

●元巡捕長等の處刑

既報濟人元仁川巡捕長たりし羅濬强言明(三二)及孫丕堂(三五)は一昨日仁川區裁判所に於て懲役六ヶ月に王登濟及尭元道は各八月に王福潮は三ヶ月に處さるゝ

●横着者捕はる

原籍熊本縣飽託郡八分寺村大川原新八(二四)は原籍地裁判所に於て懲役二百七十五日の宣告を受け刑の執行猶予後直ちに逃走行衛不明なりしが其後仁川宮町一丁目某方に潜伏し居りし事發覺し十三日午前六時仁川署の刑事は同裁判所の逮捕狀により引渡せり

●他人の印で借金

元遞信局に在勤したる千葉縣人宇井翼(明治廿五年生)は同僚十數名の印章を盜用して旭町二丁目の小倉恒松、賓念町の根本敏義より各六十圓宛を借入して新町に浮れ居たること發覺して十二日檢事局へ送られたり

●詐僞取財

福岡縣人藤井愛之助(五四)は大分縣宇佐郡津房村在住當時仲茂一なる者より金二十圓を詐取し當地に逃げ來り本町九丁目吉田次郎吉方に潜伏中を南部署刑事に捕れ目下取調中

●淨土宗開教院の祭會

明治町の同院にては例年の通り十四、十五日兩日とも午後八時半より盂蘭盆法要說教和讃み十五日午後二時よりは大施餓鬼會を執行するよし

●膓窒扶斯

龍山港町四十三番戸鐵道局守衛佐藤健造(三〇)は去る十一日發病(原因系統不明)膓窒扶斯に罹り龍山鐵道局立同仁避病舍に收容せらる

●拘留十日に即決

兵庫縣武庫郡島村大字東綿島儀一郎は浮浪罪として南部署に於て拘留十日の即決を受く

廓のうはさ

▲新町遊廓の紛擾問題も無事解決し愈々總會を開き役員撰擧の結果取締に清月樓主副取締に櫻家樓主當撰致したり先以て芽出度し▲如何なる理由にや毎木曜日の朝はブル〳〵慄へる娼妓と嬉し相にニコ〳〵して居る妓とある、木曜は即ち檢査日なりと註を加へ置くこと然り▲一時廓雀に依りて面白からず吹聽せられたる清月樓は近來大に其の面目の革め氣安く面白く遊興せしむる樣樓主初め娼妓仲居協力の大勉强繁昌するにも原因のあることなり▲同樓のれ職太郎蝶々は此方の腹は痛まないと勘定はれ客がするのだからと下司張つた根性からではないでしようが兎に角遠慮なしにビールを呷つたので痛まぬ筈の自分の腹を痛め入院の憂目を見たりと、決して好い氣味だとは思ひ申さず▲同樓の環腦病と云ふ此の姉には珍らしい病氣にて入院中なりしが近々退院の筈だからとて珍らしくはなし入つたものなら出ざアなるめね▲京城樓の千代子は頗るの親孝行にて母の事ばかり心配致し其の無事を神佛に祈り居るとか孝は百行の基と申す客に對しても親切なること無論なるべし▲同樓月子八重子の秘密は其の口中にあり八代子には金齒あり月子には金齒なし……だとサ……宵越しのビール氣の脱けたと鄙しい▲目下休業中の同樓の花子は姙娠五ヶ月で加かゝ此れで二度目の懷胎、ヘツ、傾城に誠ないとは夫りや誰が云ふた誠あるほど買ひもせず野暮な口からいき過ぎてるよ、聞い月でも見てれ入來よ▲大桝屋の染里は大願成就に及び本町一丁目の○○○○○○○○君の御新造とこそは成りにけりイヨ御所人れ芽出度う▲同樓の松葉は遠からず年期開けて左樣ならを致すとか▲皆來樓の萬龍は關東地方にて鍛ひ上げたる腕を揮ふ其音プン〳〵と蚊の羽音の如し▲第一樓の九重は此の頃或る活版屋さんにチエ青郎やと甘つたれて居ります▲玉家の琴代は初會客に無心を云つて斷られたので「何うして京城の客はコーも狡猾なんでしよう」▲日暉樓の萬〇、白雲、日暉等は相變らずの惡戰苦鬪、日毎に盃盤を極め居候▲井門支店の幸子は大國サラミに好やんが出來たとか▲同樓の春榮枝は理想通りの客が手に入つたと喜び居れり、理想の人とは辯護士か裁判官か、曰く天機は漏すべからず▲元西小門通り福來亭の竹子は新遊廓元祿樓より由良之助と云ふドエライ名で▲休業中の京城樓の鈴子も近々營業に從事するとかよ▲第一樓の高窓、月子は容扨び至極親切だと喜び居る客澤山に候とかよ(鳳凰子)

●演藝だより

●歌舞伎座 木村猛夫一行十四日の代り狂言は榎本破笠子作『樹間の紅葉』全八場にして重なる役割左の如し 仙太(高濱)遠藤(寺田)吉田勝次、俠客佃甚五郎(猛夫)江村剛三(桃井)父勝平(三好)娘たきぬ(君子)召使なつ(照子)

●浪花館 例の合併演藝會一行なり

●劇「人の親」を觀る

十一日夜歌舞伎座に新派木村一行を觀んものと相變らずの雨をも厭はず出かけた觀客が時正に八時然るに存外の不入だつたが雨が降るから無雜性を定めて居るのか又木村一行に對し是迄の樣なヘマな新派劇と同一視して居るのか何はあれ好劇家諸君在來のうれとは違つた一行の腕前一度觀て置くべき價値あるものと思ひ此所に紹介して置くの予の觀たのは三日目で藝題は同じく佐藤紅綠氏作「人の親」であつた筋に於て無理もなく分り易く仕組んである面白い芝居だ茲に重なる役々に付て藝評を試みよう木村の漁師藤兵衛柄調子共に其人を得た適役で萬事手に入つたもので眞正直の無骨な老爺を寫實に演て居たのが全く其人を目前に見るようである漁師としての擬へも充分工夫の痕が見へる此優チヨイ〳〵とダレ場に出て儲けるが旨い所へ出る譯でもない藝が良いから旨く見へるのだと思ふ。それから四幕目中澤別莊奧庭の場で令孃中澤芳子が母たる柳子とその妹れたきに何かにつけて意地惡く析檻され堪へ兼て無分別にも家出せんと驅け出る處を止めて未だ了簡が若い〳〵短氣は起さつしやるな〳〵の件からしんみりとした論しの場は頗る能く思はずホロリとさせたうの機芳子が十八年前白濱に捨てた自分の子と分つて大に驚き涙にくれ言ふに言はれぬ自分の身の上から芳子に對し父の名乘をせずに苦しい胸を堪へる處充分うれと受取れた五幕目の柳子の殺し場も自然で良かつた。野村の令孃芳子落着きもありういしい所があるのも彼が獨得の美點である四幕目の場で父中澤清秀に始めて捨子なる事を打明られた時「うんなら私は御父さんの眞實の子では無いんです子ー」と言つてからの泣落しも仕科に於ても上乘のものである福澤の夫人柳子是と言つて見せ場もない唯熱心に演て居たのが嬉しい臺詞が天井へ抜け出るようツパ抜けるように聞き取れるの娘耳障りだ澤井のたさヲキャンの娘出來で[illegible]る性格を能く現していた上等の出來であるや云ふ女優でもあるからいく嘆つしやとて男優の女形に扮したそれとは違ひ臺詞に無理がなく樂さうに見受られ其他は總て預つた置くさしよう([illegible])

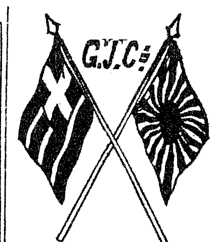
●諸公債諸株券現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村徳七代理店 田中友吉商店
電話九九三 電略(タ)



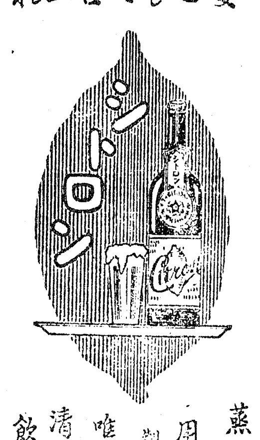
完全なる健康法は善良なる滋養を得るにあり
蜂印香竄葡萄酒
は佛國葡萄酒の精粹なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として最良好適たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ
發賣元 東京 近藤利兵衛

◎貸金 旭町二ノ一五 別府 高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候

複方 TRADE MARK 感冒解熱特效劑
アンチヘブリン
四季のひきかぜ、はやりかぜ、ねつ痛一切づゝうの良薬
發賣元 京都市三条柳馬場角 川杉資善堂
藥價 二日分金拾戔 五日分金廿戔
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四、一〇六八 振替口座京城十六番



中元御進物品
◎エジプト、トルコ巻煙草
◎葉巻煙草、刻煙草
◎金口煙草、パイプ煙草入
◎其他各種香水化粧品類
右各種揃に付精々勉強可仕候間多少に不拘御用命願上候
京城本町二丁目 日希商會
電話三三二番

安心して召上れ


蒸溜水を用ひて製造せる唯一の清涼飲料なり

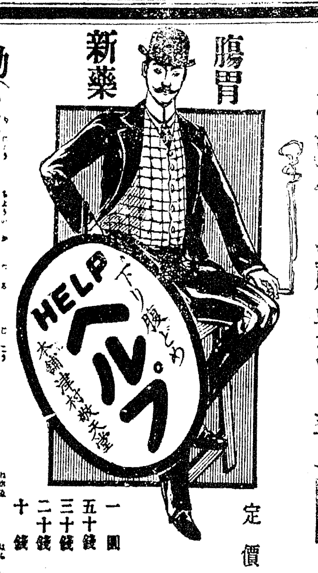
中元暑中進物用
キリンビール
和洋酒、和洋食料品
食器、化粧品類
弊店發行の商品切手は東京、横濱、京都、大阪、神戸、門司、の各本支店共通の程願上候
多少に不拘御用命
地方より御注文は振替口座京城四番を御使用被下度候
京城本町 明治屋京城支店

牛馬犬猫治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長 小川龜太郎
(電話四二七番)

廣告
是迄弊社京城代理店を百三十銀行京城支店菅原大太郎殿へ委托の處今般都合に依り京城本町三丁目森久兵衛殿へ變更依頼候に付以後保險掛金は同氏へ御拂込被成下度此段廣告候也
明治四十四年七月十一日
日本生命保險株式會社

小生儀從來日本生命保險株式會社京城代理店事務取扱致居候處今般都合に依り本社と協議の上森久兵衛氏へ右事務取扱を變更致候に付從來の通り精々御引立被成下度此段謹告候也
百三十銀行京城支店 菅原大太郎

梅雨とヘルプ
連日連夜の雨は惡疫苗芽の好時季なること快晴後に起る
下痢患者の續出に徵して明瞭也
知れる人は已にヘルプを服用せるならん
知らざる人は速にヘルプの服用に氣付れよ
効力絶大のヘルプは
單に下痢症のみならず時候あたり寢冷腹痛食傷等腸胃の障害一切を驅除し
惡疫を絶對に豫防す



腸胃新藥
定價 一圓 五十錢 三十錢 二十錢 十錢
効能 ●痢病●腸胃加答兒●時候あたり●寢冷●腹痛●吐瀉●水あたり●痢急後重●腹の瓦斯●食傷等一切の下痢を止め腸胃を整へ惡疫を豫防す
本舗 東京日本橋區本銀町大通 電話本局千九十七番 津村敬天堂(取次所は各藥店)

醫者の來るまでヘルプが必要
凡て傳染性腸胃病は其起るや疾風の如く一刻の差違に生死の境となる袖手して醫師の來るを待つは迂なり故はヘルプの如き完全なる腸胃藥を常備して臆急手當を施せば大事に至らず全治するの幸福を得べし

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

効能ある温泉
浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せん、きんぴよう、しようかち、しきゆう、じのいたみ、つきやくふちゆん、ひせんがさ其他皮膚病一切
外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさかつけ、らいびよう、ばいどくせいできもの、いんきん、たむし、うちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんてうかたる
内用効能 ひんけつ、しんぞう、のびよう、ちようかたる、らいびよう、はいびよう、たうだん、かつけ、しんけいつう、りようまちす、せきずい、じんろう、ちゆうふう、げり、はらいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、じきう、酒のよい
旅館 貸席 浴客
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手(電話一四一二番)
鐵冷温泉

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目(電話一五四九)

M.C.C.
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
士紙 耳巻 古賣
エムシーシー
京城、平壤龜屋――――签出、木浦、群山高瀨支店

弊館には夜警の設備有り
眺望の好き事 陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館なり
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸 旭屋旅館
電話二五一

齒科治療
本町六丁目(飯そば横町)
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談
(電話一五八三)

資本金一千萬圓
積立金六百〇五萬圓
明治六年設立
株式會社第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話一一番 六二一番
振替貯金口座朝鮮一二番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

眼科専門
前大韓醫院眼科部長
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院
電話一五五六番
金井豊七

最上醬油
特約販賣 仁川高雄京城支店

東京 澤庵萬漬物類

特製 實味噌
御料理向
味噌製造 漬物問屋
仁川本町三丁目 たからや
電話七三七番

本場精撰 茶
右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣とも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目(府廳通)
田中芳春園
電話四五〇番
振替京城五〇二番

京割烹 笠齋流
す津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

〒 間定期出帆廣告
芙江公州
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半
船內御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 滊船出帆廣告
七月中
三宵丸 屯串行 七月日前九時
天草丸 海州行 七月十六日前六時
成歡丸 蓓島行 七月十四日前十時
海利丸 海州行 七月十四日前五時
成歡丸 汰沽芝行 七月十四日前九時
仁川本町四丁目
合資會社秋田商會船舶部
電話一七三番 七五〇